

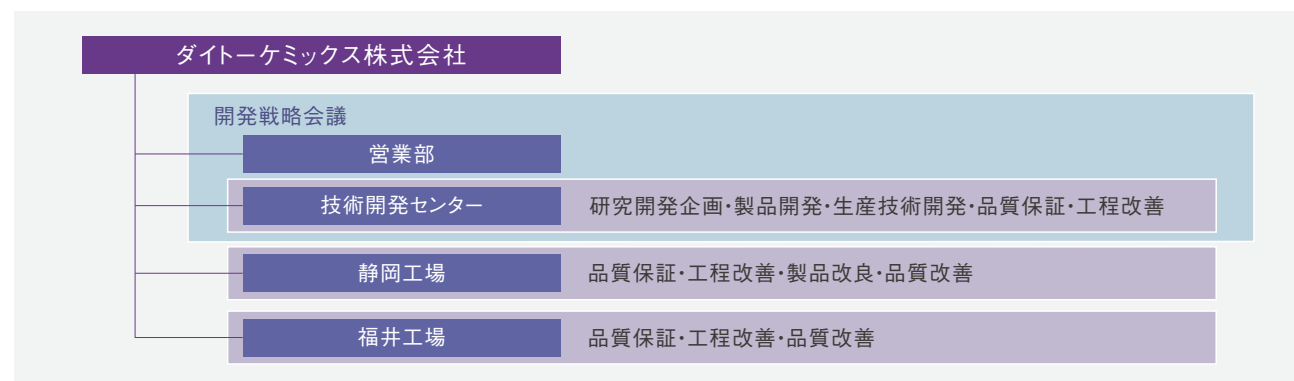
研究開発

SDGsを意識したイノベーションによる 競争優位性の高い革新的製品 および技術の開発を推進

電子材料は、当社の主な事業分野であり、半導体集積回路のさらなる微細化、自動車のエレクトロニクス化、IoTの進化、スマートフォンやタブレット端末等のスマートデバイスの需要により、今後も成長が見込める分野です。微細化に向けた最先端のArF液浸材料およびEUV材料開発においては、顧客の開発スピード・高度化する品質要望にタイムリーに応えるため、技術開発センターの試作ライン、福井工場の量産化専用ライン、そして極微量元素分析装置の充実を図るなど、少量試作から、量産までの一貫した製品開発に積極的に取り組んでいます。また、ディスプレイの高精細化に伴う高性能・高品質な材料開発を顧客とともに進めております。

日々高まる顧客からのコストおよび品質要望に対し、技術開発センターで開発された製品の競争力をより強固なものとするために、長年培った合成技術と最新の知見に裏付けされた量産化技術とを融合させた生産技術力を駆使し、究極的な製造法の確立を目指し改良研究を行っています。製品のコストおよび品質競争力は、生産過程を総合的に作りこむことで達成しています。また、法的、社会的要請も遵守し、ISOなど品質システムに基づきつつ、さらなる品質向上とコストダウンを推進するとともに、製造責任を果たしていきます。

● 研究開発体制図



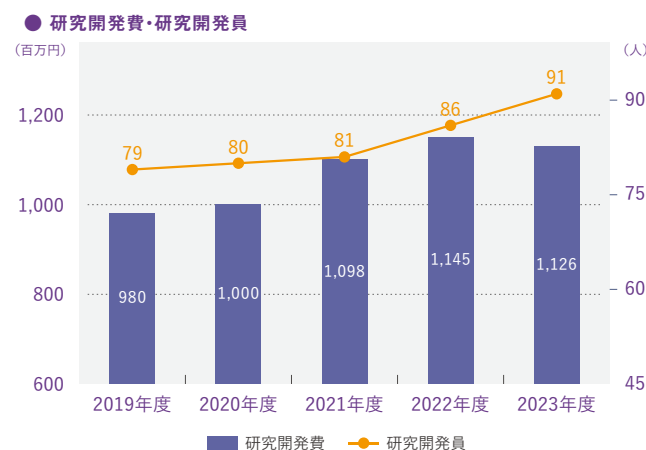
VOICEインタビュー



技術開発センター
機能性材料開発グループ
福島 大貴

開発に対する思い

私は主にディスプレイ材料の研究開発を担当しています。当社は開発担当者がラボ検討〜プラントスケールでの製品立ち上げまで一貫して対応するので、ラボ検討時から常に量産化を想定しながら、品質の良い製品を安定供給できるように検討を進めています。検討を進めていく中で困難な課題に直面することもあります。今まで培ってきた経験や知識を基に壁を乗り越え、開発スピードや品質、コスト等、あらゆる面で顧客に満足していただける製品創出を目指しています。



技術開発センター



所在地 大阪府大東市諸福八丁目3番11号
従業員数 77人(2024年6月1日現在)

地域・社会への貢献

技術開発センターは住宅や教育機関、病院等が密集する都市部に立地しています。そのため、環境モニター制度を設けて、事業活動の中で近隣住民の方にご迷惑をおかけしていないか定期的にご意見をいただいています。また、当社からも定期的に稼働状況を報告す

● 地域への奉仕活動

当社も地域の住民であることを念頭に、周辺で開催される夏祭り、秋祭り、年末の行事などに積極的に協力しています。また、毎月、事業所外周の清掃活動を実施して、地域の美化推進に貢献しています。



● 社会への貢献

当社では、定期的に従業員に対し献血活動と呼びかけ、「尊い命を救う」活動を行っています。微力ながら地域社会への貢献活動として、これからも社員・関係者による献血活動を継続し、日本赤十字社に協力してまいります。



静岡工場



所在地 静岡県掛川市浜野3110
従業員数 100人(2024年6月1日現在)

環境保全への取り組み

排水の生物処理設備を有しており、排水基準を遵守しています。2023年4月より汚泥脱水機を更新し、処理能力が大幅に向上しました。これにより、外部業者で委託処理していたスラリー汚泥がゼロとなり、大幅に廃棄物を削減しました。

地域・社会への貢献

- 毎年6月に実施される掛川市主催の早朝海岸清掃に社員が参加しています。また、12月末には工場周辺の一斉清掃を実施しています。
- 毎年10月に開催される地域の秋祭りに献酒と寄付を行っています。
- 毎年3月に掛川市危険物安全協会主催の春の火災予防運動（掛川駅周辺での街頭広報）に参加しています。



福井工場



所在地 福井県福井市石橋町31字118
従業員数 62人(2024年6月1日現在)

環境保全への取り組み

福井県、福井市と公害防止協定を締結し、厳しい規定値を遵守して環境保全に取り組んでいます。工場内に排水の生物処理設備を保有しており、排出基準を満たした処理水をテクノポート福井浄化センターへ排出しています。また、廃液焼却設備も保有しており、各種排出物を適切な方法で処理しています。福井工場では、エネルギー使用量削減、廃棄物削減、放流水中の有害物質管理濃度などの目標を定め、環境保全活動に取り組んでいます。



地域・社会への貢献

- 福井県のゴミ拾い活動「ビリカ」に参加し、毎月、事業所外周道路の清掃を行っています。
- 事業所内の緑地帯の管理を行っています。

